



2021年11月12日

各 位

東京都中野区本町一丁目32番2号
会社名 アクセルマーク株式会社
代表者名 代表取締役社長 松川 裕史
(コード番号：3624 東証マザーズ)

<マザーズ>投資に関する説明会の動画配信について

当社は、2021年11月11日付けで公表の2021年9月期 決算短信でお知らせのとおり、決算説明会を動画配信にて実施いたしましたので、お知らせいたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今回の決算説明会（機関投資家・アナリスト向け）については、会場での開催は取り止め、動画配信にて実施することといたしました。

動画配信に関する当社ホームページへの掲載概要は以下のとおりとなります。

機関投資家、アナリストおよび報道関係者の方々をはじめ、広く皆様にご高覧いただきたく存じます。

■掲載概要

公開日時	2021年11月12日(金)
開催方法	インターネットを利用した動画配信
掲載方法	当社ホームページ (動画配信 URL : https://youtu.be/iH4JIA2po6M)
説明会資料名	2021年9月期 通期決算説明会資料

以上

■本件に関するお問合せ先

アクセルマーク株式会社

経営管理部 IR担当

【TEL】03-5354-3351 / 【email】ir@axelmark.co.jp

決算説明会資料

2021年9月期 通期

アクセルマーク株式会社（東証マザーズ:3624）
2021年11月11日

目次

- 1 2021年9月期 通期業績概要**
- 2 2021年9月期の取り組み
- 3 2022年9月期以降の各事業の成長戦略
- 4 2022年9月期 業績予想

売上高**695**百万円
(前四半期：696百万円)**営業利益****10**百万円
(前四半期：11百万円)

□ 事業概況

- ・ 2021年9月期第2四半期より継続して、当四半期においても営業黒字を達成
- ・ 広告事業のデジタルマーケティングの「ECMARK」「トレーディングデスク」が過去最高の四半期売上高を更新
- ・ BC関連事業の動画NFTトレーディングカードサービスにおいて、株式会社電通、株式会社オルトプラスの3社で共同企画・開発を推進

□ 全社概況

- ・ 2021年9月期末時点の純資産額691百万円となり債務超過解消

損益計算書四半期推移

事業構造の転換により、3四半期連続の営業黒字化、
暗号資産評価益などの営業外収益もあり、QonQで経常利益が増加

単位：百万円

	当期			当期	QonQ
	1Q	2Q	3Q	4Q	差異
売上高	632	631	696	695	▲1
売上原価	553	555	613	617	+4
売上総利益	79	75	82	78	▲4
販売管理費	103	70	70	68	▲2
営業利益	▲24	5	11	10	▲1
営業外収益	11	26	5	11	+6
営業外費用	0	9	4	1	▲3
経常利益	▲13	21	12	20	+8
特別利益	-	-	38	-	▲38
特別損失	-	-	0	-	▲0
税引前当期純利益	▲13	21	50	20	▲30
法人税等	0	▲0	▲0	4	+4
当期純利益	▲13	21	50	15	▲35

損益計算書概要（通期比較）

事業構造の転換によりYonYで売上高微減となるも
黒字化施策の完遂により通期営業黒字を達成

単位：百万円

	2020年9月期 通期実績	2021年9月期 通期実績	YonY 差異
売上高	2,784	2,655	▲129
売上原価	2,854	2,339	▲515
売上総利益	▲69	315	+384
販売管理費	583	313	▲270
営業利益	▲653	2	+655
営業外収益	42	55	+13
営業外費用	13	16	+3
経常利益	▲624	41	+665
特別利益	22	38	+16
特別損失	221	0	▲221
税引前当期純利益	▲823	79	+902
法人税等	2	4	+2
当期純利益	▲825	74	+899

2Q以降の黒字継続、9.6億円の資本増強によって、
前期末の債務超過状態を解消し、自己資本比率40%まで回復

単位：百万円

	2020年 9月期 4Q末	2021年 9月期 4Q末
流動資産	680	1,520
現金及び預金	400	1,138
売掛金	227	326
その他	51	55
固定資産	134	190
有形固定資産	20	17
無形固定資産	3	2
投資その他の資産	110	171
資産合計	815	1,711
自己資本比率	▲21.8%	40.1%

	2020年 9月期 4Q末	2021年 9月期 4Q末
流動負債	412	306
買掛金	175	245
借入金	150	-
その他	87	60
固定負債	575	713
転換社債型新株予約権付社債	575	713
負債合計	987	1,019
資本金等	3,368	885
利益剰余金	▲3,538	▲194
新株予約権	4	5
その他	▲8	▲4
純資産等合計	▲172	691
負債・純資産等合計	815	1,711

目次

- 1 2021年9月期 3Q業績概要
- 2 2021年9月期の取り組み**
- 3 2022年9月期以降の各事業の成長戦略
- 4 2022年9月期 業績予想

□ 営業黒字化に向けた取り組み

- ・ 黒字化に向けた施策
 - ①事業構造の転換 ②BCゲームの協業 ③全社費用の削減の完遂
- ・ 収益事業である広告事業の更なる拡大

□ 債務超過解消と再成長戦略のための資本政策

第2回CB※₁および第23回WT※₂の発行により資金調達、これらの資金を今後の成長事業へ

<投資先>

1. 主力事業であるインターネット広告事業の体制強化
2. NFT関連事業(=ブロックチェーン関連)の権利獲得、プロジェクト出資
3. ヘルスケア事業への進出、提携、出資、権利獲得等
4. IoT事業の拡大のための投資

※1 第2回無担保転換社債型新株予約権付社債 ※2 第23回新株予約権

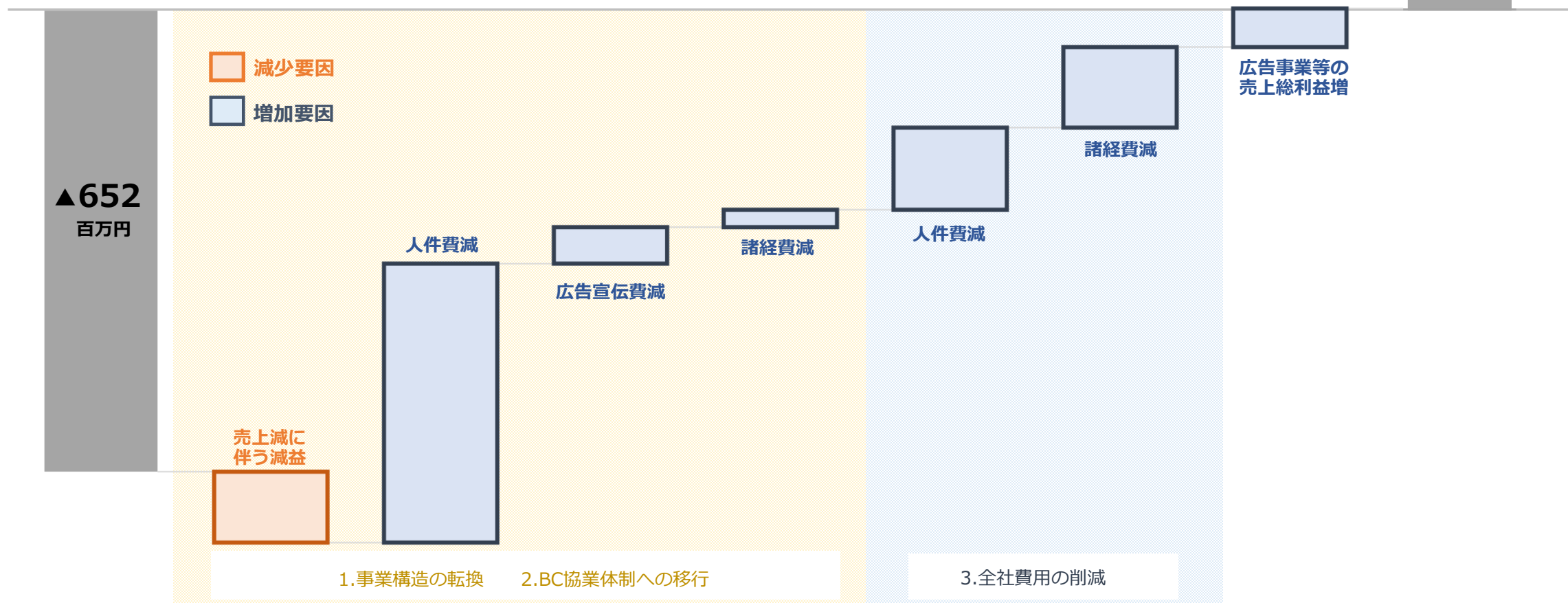
営業黒字化に向けた取り組みの成果

黒字化に向けた施策の完遂により、
2021年9月期通期での営業黒字化を達成

2020年9月期
通期 営業利益

2021年9月期
通期営業利益

+2百万円

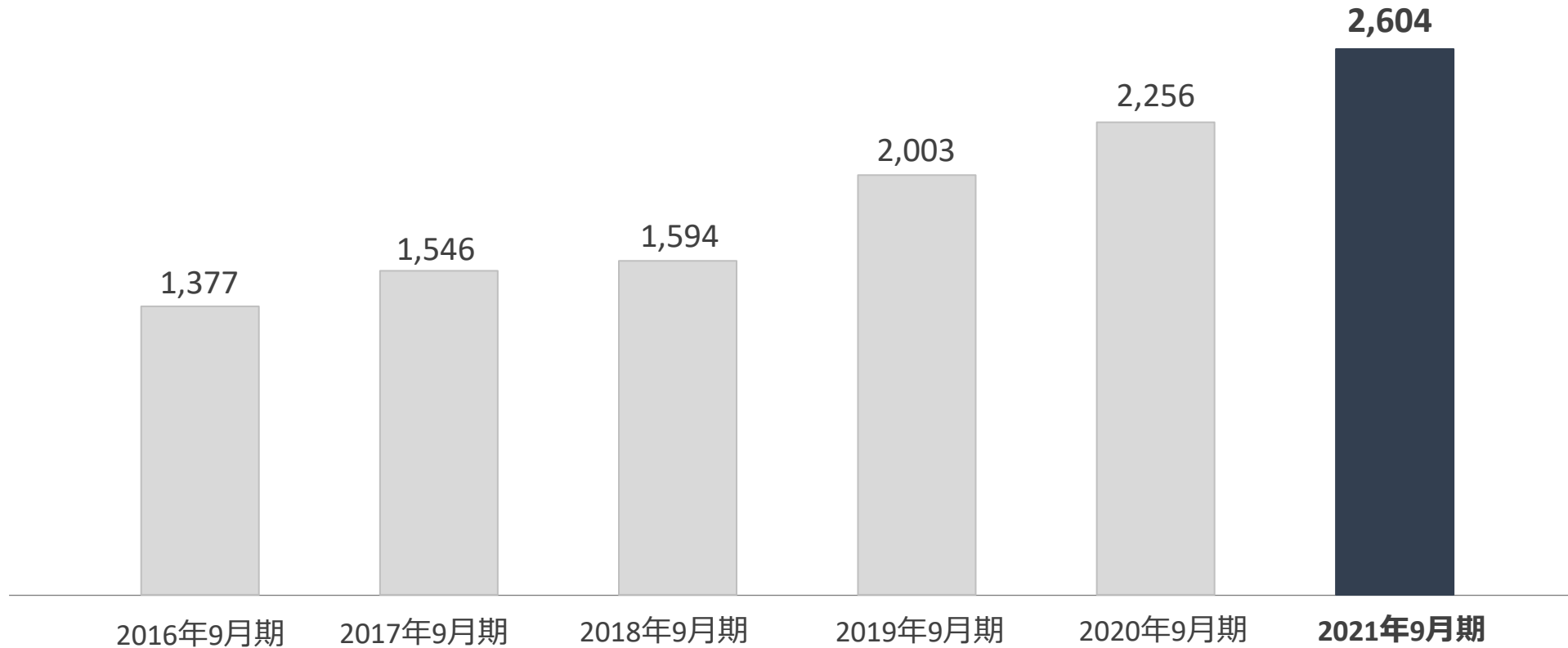


※2021年9月期第1半期決算より非連結決算に移行したため、前期実績は連結実績を記載しております

2 2-3. 広告事業の売上高推移

広告事業が引き続き収益事業として堅調に推移し、
2021年9月期の営業黒字化に貢献

単位：百万円



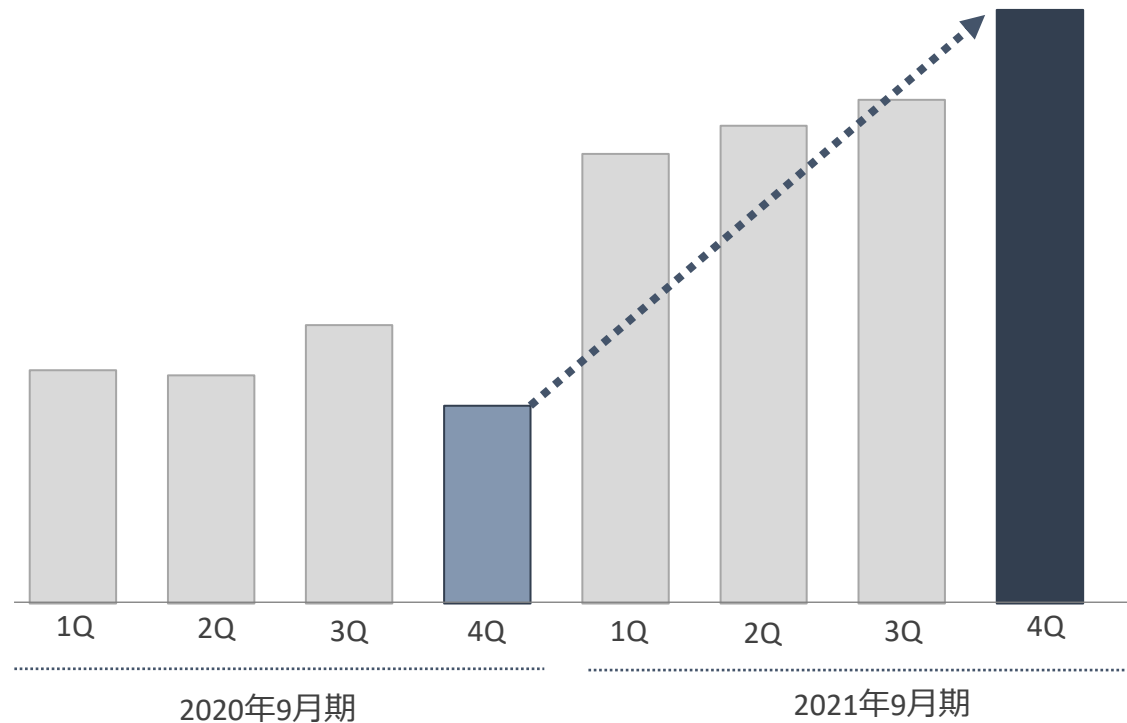
2 2-4. 広告事業 「デジタルマーケティング」の業績

デジタルマーケティング領域では、
EC関連サービスの利用拡大に伴う広告需要を取り込み、
過去最高の四半期売上高を更新

前年同期比
売上高
300%

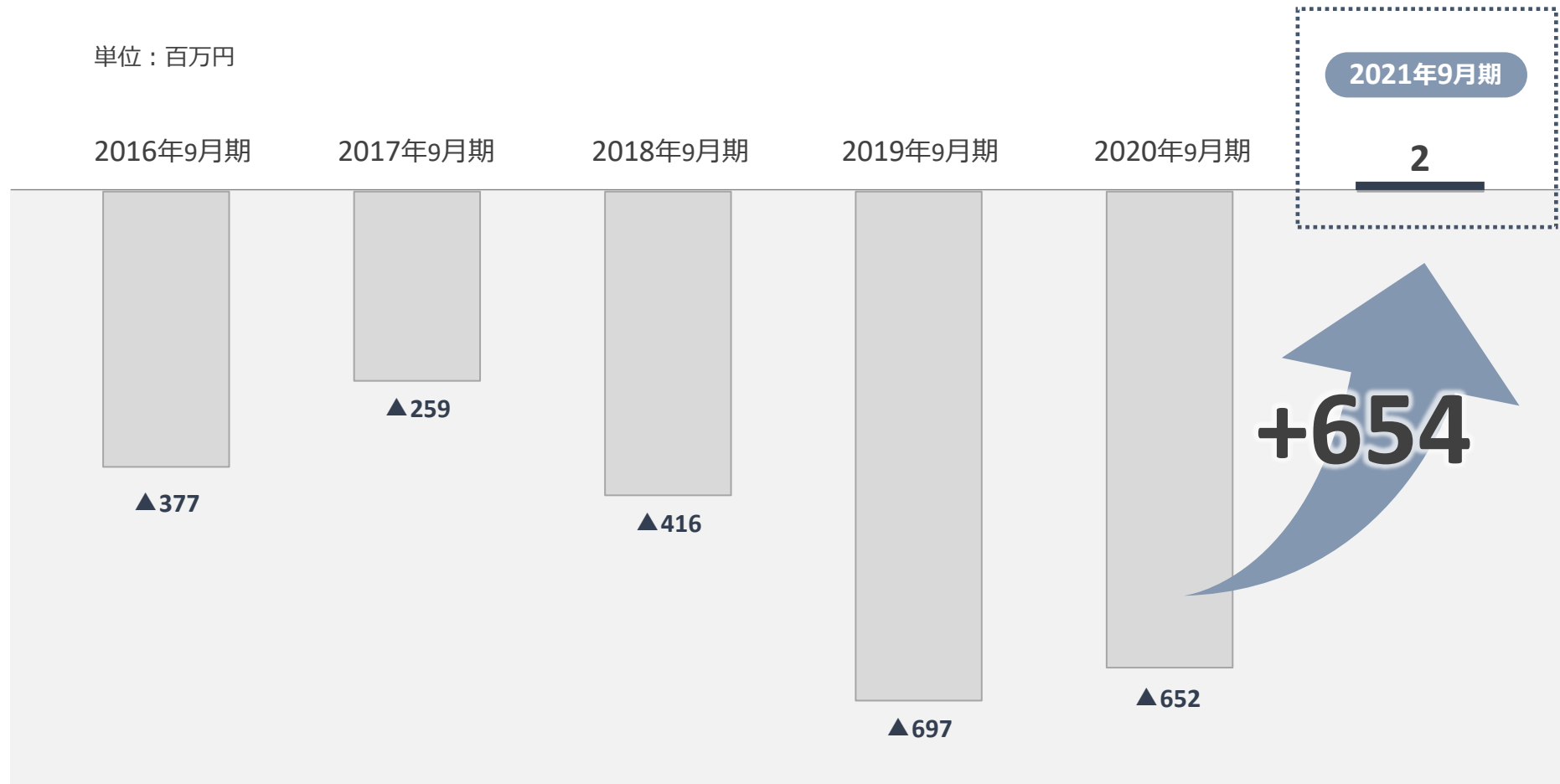
デジタルマーケティング領域

- **EC MARK**
中小事業者に特化した
eコマース販売促進サービス
- **TRADING DESK**
デジタル広告運用代行サービス



2 2-5. 営業利益推移

2021年9月期において、大幅な収益改善により営業黒字化を達成



※2021年9月期第1半期決算より非連結決算に移行したため、前期実績は連結実績を記載しております

2 債務超過解消と再成長戦略のための資本政策



営業黒字化および資本政策により、債務超過を解消

2021年9月期
3Q~4Q期間の
転換・行使状況

資金調達額計 **965**百万円

第2回CB : 資金調達額 557百万円、転換済み株式数 1,271,600株
第23回WT : 資金調達額 408百万円、行使済み株式数 1,360,200株

2021年9月期末時点
純資産額の状況

純資産額 **691**百万円

債務超過に係る上場廃止の
猶予期間入り銘柄の解除

2021年12月下旬に解除予定

2021年9月期の有価証券報告書を関東財務局に提出し、
債務超過解消を正式に発表後、上場廃止に係る猶予期間の解除がされる（予定）

目次

- 1 2021年9月期 3Q業績概要
- 2 2021年9月期の取り組み
- 3 2022年9月期以降の各事業の成長戦略**
- 4 2022年9月期 業績予想

3 広告事業 市場状況

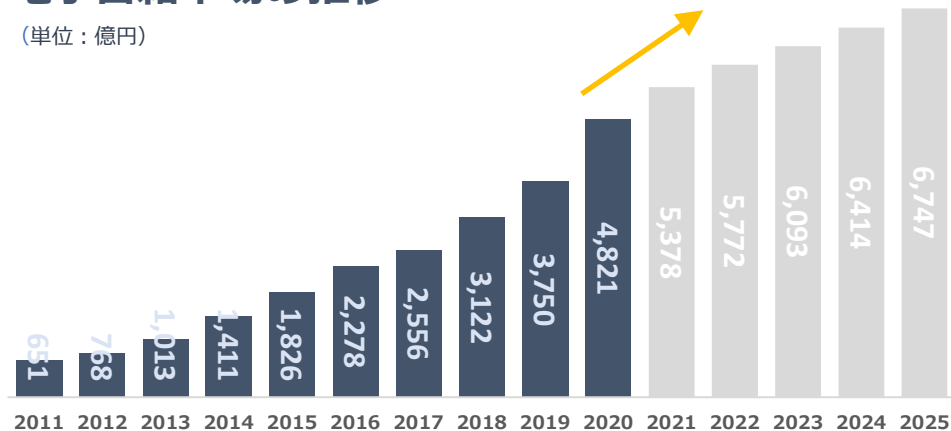
アドネットワークサービス「ADroute」の重要顧客である電子書籍領域の市場および、デジタルマーケティング領域での重要顧客であるEC領域の市場は、

コロナ禍の巣ごもり需要や、新しい生活スタイルの定着を追い風にさらなる市場拡大が見込まれる。

ADroute重要顧客市場

電子書籍市場の推移

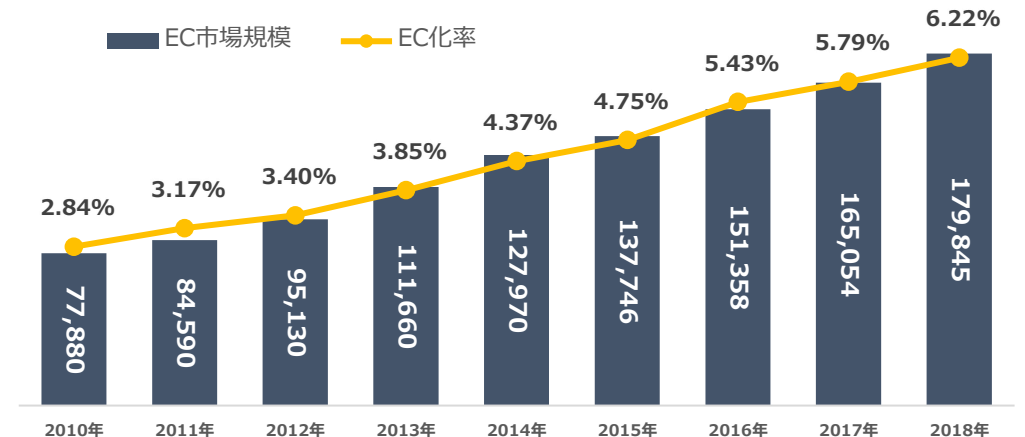
(単位：億円)



出典：電子書籍ビジネス調査報告2021（株式会社インプレス）より当社グラフ作成

デジタルマーケティング重要顧客市場

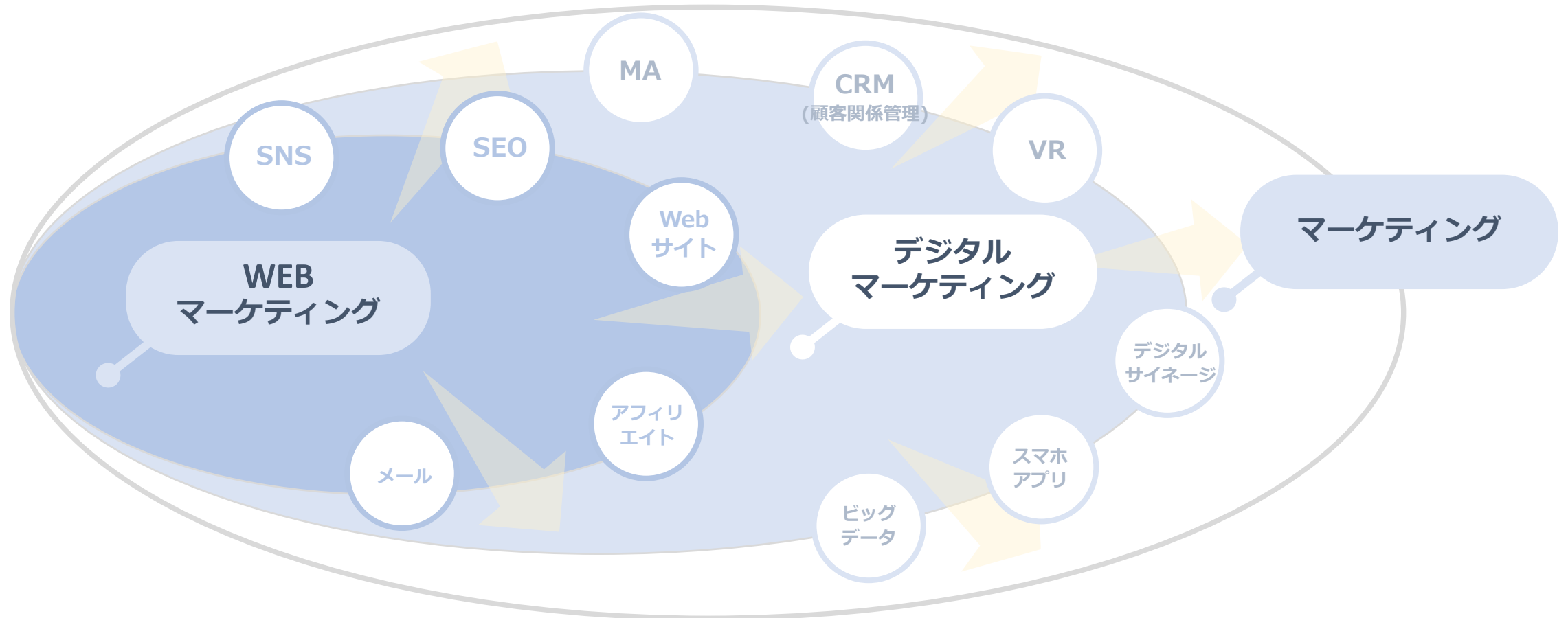
BtoCのEC市場規模とEC化率の推移



出典：平成30年度 我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備（経済産業省 2019年5月16日）より当社グラフ作成

3 広告事業 今後の成長イメージ

クライアントのニーズに合わせて、対応するマーケティング領域のプロダクト、ソリューション、サービスを拡大させる



3 ブロックチェーン関連事業 市場状況

BC市場、特にNFT関連市場は**急速に拡大**中。
本年3月時点で、昨年1年間の市場規模の 4.7 倍
 に達するとの予測も発表されている。



世界のブロックチェーン関連市場規模

※IDC Japan株式会社 発表資料より当社グラフ作成
<https://iotnews.jp/archives/132451>



世界のNFT関連の市場規模推移 (単位：百万ドル)

※BLOCK ONOMI および DappRadadar発表記事より、当社グラフ作成
<https://blockonomi.com/nft-market-cap-315-million/>
<https://dappradar.com/blog/nfts-generate-record-1-5-billion-transaction-volume-in-q1-2021>

3 ブロックチェーン関連事業 動画NFTトレーディングカード



当社、電通、オルトプラスの3社共同で、アニメなどの映像作品IPの動画を NFTトレーディングカードとして発行するサービスの企画、開発を推進。

※ NFT (Non-Fungible Token、非代替性トークン)



3 ブロックチェーン関連事業 ビジネスモデル

様々なIPホルダーおよびパートナーと協業し、
サービスタイトルを増やしていき事業の拡大を図る
同時にNFTの特徴を活かしたユーザー間取引の活性化を目指す

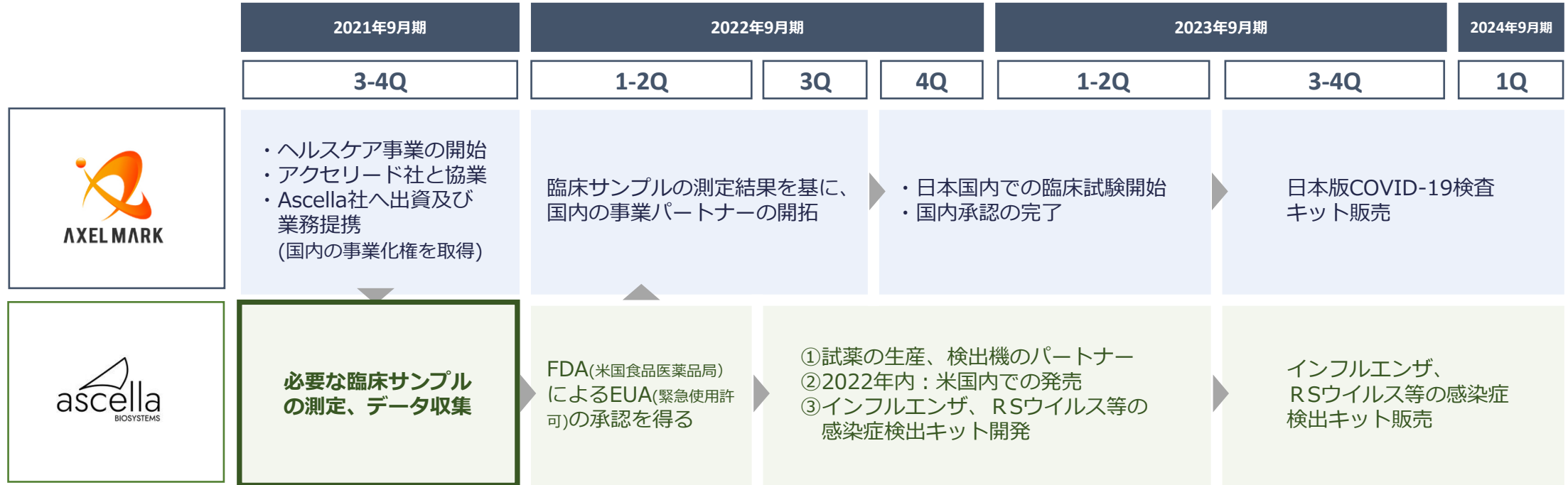


3 ブロックチェーン関連事業 今後の成長イメージ

ブロックチェーン関連事業の売上は積上モデルであり、
市場の拡大、サービスタイトルの増加とともに成長が拡大していく



3 IoTヘルスケア事業 Ascella Real Time Systemロードマップ



引き続き、患者の臨床サンプルを用いた試験を繰り返しFDA申請に必要なデータを収集している。必要なデータが揃い次第、FDA (米国食品医薬品局) に申請し、EUA (緊急使用許可)を取得することを目指す。

3 IoTヘルスケア事業 アフターコロナの活用法

■ Ascella Real Time System

・・・RAIL System※と言われる分子診断技術を用いた新型コロナウイルス迅速診断法



コロナ収束後においても、開発中のAscella Real Time SystemはCOVID-19及び変異株を含む、インフルエンザ等の様々な感染症に対しても対応可能。また、従来の検査と比べて簡易的に検査ができ、安価で短時間で結果を確認できるため、将来的に様々なシーンでの需要を見込んでいる。

(参考) 2021年9月24日、COVID-19検査キットを手掛ける米Cue Health社が、米ナスダック市場に上場し、企業評価額は23億ドル(約2,600億円)近くに達し、業界全体が注目されている。

全社 「既存事業の収益拡大」と「新規事業の成長基盤構築」

既存事業

- **広告事業**
マーケティング領域の
プロダクト、ソリューション等の
サービスを拡張させて
引き続き収益事業として、
事業拡大を推進していく

新規事業

- **BC関連事業**
ブロックチェーン/NFTを活用
したプロジェクトへの出資等、
他社とのアライアンス展開を実施
- **IoTヘルスケア事業**
Ascella社との取り組みに注力して、
引き続きヘルスケア × IoT市場
の新規事業開発を目指す

3 今後の見通しについて

広告事業による安定的な収益を見込み
ブロックチェーン関連事業は今後の市場拡大にともなう成長を見込み
今後の成長分野として注目されているIoTヘルスケア事業を推進



目次

- 1 2021年9月期 3Q業績概要
- 2 2021年9月期の取り組み
- 3 2022年9月期以降の各事業の成長戦略
- 4 2022年9月期 業績予想**

レンジ形式による通期業績予想を採用

売上高	3,000百万円	～	3,400百万円
営業利益	▲50百万円	～	50百万円

□主に下記要因により、レンジ形式による通期業績予想開示を採用

- ・BC関連事業において、サービス開始時期が確定していないため保守的に算出、サービス開始時点において業績の詳しい見通しが出た場合には開示をします。

4 2022年9月期 業績予想

単位：百万円

	2021年9月期 通期 実績	2022年9月期 通期 予想		YoY 差異	
		上限	下限	上限	下限
売上高	2,655	3,400	3,000	745	345
営業利益	2	50	▲50	48	▲52
経常利益	41	51	▲49	10	▲90
当期純利益	74	42	▲51	▲32	▲125

「楽しい」で世界をつなぐ



当資料はアクセルマーク株式会社が作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。

当資料は当社の現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが、当社がその正確性を保証するものではなく、

事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。

最新情報やお問い合わせは下記のコーポレートページよりお願いいたします。

<https://www.axelmark.co.jp/ir/>